



日本税理士会連合会
金子 宏 賞



令和8年7月23日

「日本税理士会連合会・金子宏賞」の概要

趣 旨

租税法学の礎を築き、我が国の租税研究に多くの功績を残された故・金子宏氏を顕彰すべく、租税制度に係る学術研究の発達に貢献し、ひいては申告納税制度・税理士制度の発展に寄与した者に対し、「日本税理士会連合会・金子宏賞」を授賞する。

選 考

- (1) 1回の選考において受賞者は1名とする。
- (2) 選考は4月に行う。
- (3) 選考委員会において選考し、正副会長会において承認する。

受賞者

受賞者は、次の者から選考する。

- (1) 本会若しくは税理士会又は公益財団法人日本税務研究センターにおいて、租税制度に関する調査研究に顕著な貢献があった者
- (2) 書籍・論文において租税制度の発展に顕著な貢献があった者

選考委員会

中里 実(東京大学名誉教授・日税連税制審議会会長)
早川眞一郎(弁護士・東京大学名誉教授・日税連外部理事)
神津 信一(日税連顧問・名誉会長)
尾崎 秀明(公益財団法人日本税務研究センター理事長)
日本税理士会連合会 筆頭副会長、専務理事

令和8年度 受賞者



税理士 いし まる しゅう た ろう
石丸 修太郎 氏



生 年 月 昭和29年12月(71歳)
税理士登録 平成4年5月20日 登録番号74749
略 歴 北海道生まれ。昭和52年明治大学商学部商学科卒業。昭和61年公認会計士登録。平成4年税理士登録、北海道税理士会所属。平成21年7月～平成29年7月日税連副会長、平成29年9月～日税連相談役、平成29年9月～令和7年8月日税連国際税務情報研究会委員。平成21年6月～平成29年3月北海道税理士会会長。

選考経過・理由

同氏は、通算8年の長きにわたり、日本税理士会連合会の国際税務情報研究会委員を務め、国際税制の研究に多大な情熱を注いだ。ドイツ・スイス(平成28年)、ニュージーランド(平成29年)、アメリカ(平成30年)、カナダ(令和元年)を訪問し、各国の消費税制や事業承継税制の実態を深く研究した。そこで得られた知見に基づき、日税連の税制改正建議の策定に貢献し、もって我が国税制の発展に多大な貢献を果たした。また、諸外国への調査研究に際しては、その優れた語学力を発揮して各国政府機関等との緊密かつ円滑な対話を実現し、日税連と諸外国との信頼関係を築く上で欠かせない役割を果たした。

令和8年4月1日に開催した選考委員会においては、上記の功績を高く評価し、「日本税理士会連合会・金子宏賞」を授与するに相応しいと判断したものである。

故 金子 宏氏について

かね こ ひろし
金子 宏

(令和4年8月23日 91歳で御逝去)



略 歴

昭和 5年	殿城村(現 上田市殿城)に生まれる
昭和 24年	上田松尾高等学校(現 上田高等学校)卒業
昭和 28年	東京大学法学部卒業
昭和 41年	東京大学法学部教授
昭和 47年	租税法学会理事長
昭和 62年	日本税理士会連合会税制審議会会長
平成 3年	東京大学名誉教授
平成 3年	横浜国立大学大学院国際経済法学研究科教授
平成 8年	学習院大学法学部教授
平成 13年	税務大学校特別顧問
平成 14年	東亜大学大学院教授
平成 29年	公益財団法人日本税務研究センター副理事長

上記以外にも、政府税制調査会委員を長きにわたり務めたほか、
地方財政審議会固定資産評価分科会特別委員等を歴任

表彰歴

平成 11年	紫綬褒章
平成 17年	瑞宝重光章
平成 24年	文化功労者
平成 25年	上田市功労者表彰特別表彰
平成 30年	文化勲章
令和 元年	上田市名誉市民